

# RYOBI®

## エンジンヘッジトリマ

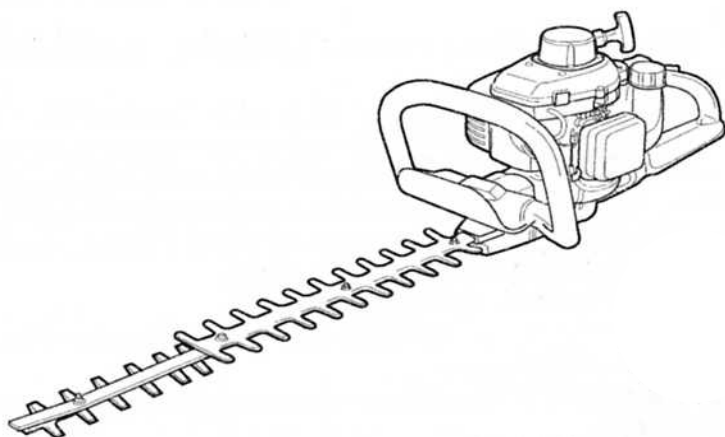
### EH-410

### EH-550

### 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。





#### もくじ


- ・安全上のご注意 ..... 1~4
- ・各部の名称・仕様 ..... 5
- ・付属品・用途・別販売品 ..... 6
- ・操作方法 ..... 6~10
- ・刈込み作業 ..... 10~12
- ・保守と点検・整備 ..... 12~14
- ・故障かなと思ったら ..... 15


このたびは、リョービエンジンヘッジトリマをお買上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。


使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。



## 注意文の「警告」、「注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「警告」と「注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物件の損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「警告」・「注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警 告

1. 小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
  - ・刃物などに当たり飛散して、作業者や周囲の人がけがをする原因になります。
2. 強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。
  - ・安全な作業ができないため、けがの原因になります。
3. 換気の悪い場所や建物の中では、絶対にエンジンを始動、運転しないでください。
  - ・一酸化炭素中毒の原因になります。
4. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができいため、けがの原因になります。
  - ・子供には使わせないでください。
  - ・生理中、妊娠中の人は使用しないでください。
  - ・疲れているとき、病気の時、酔っているときは使用しないでください。
  - ・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
  - ・機械の知識のない人や、他人の機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。
  - また、本機を人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。
5. 無理な使用をしないでください。機械に無理がかかり、反動でけがをする原因になります。
  - ・機械に適さない使用をしないでください。

- ・使用限界が示されているものは、必ずその使用範囲で使用してください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。安全に作業するための身だしなみです。
    - ・すそじまりのよい長そで、長ズボンを着用してください。
    - ・宝石や、物に引っ掛りやすいものは、身に付けないでください。
    - ・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽を着用してください。
    - ・長い髪は、肩までの長さに結わえてください。
    - ・足元保護のため、安全靴を着用してください。
    - ・耳栓、または耳覆いを付けてください。
    - ・手袋を着用してください。
  7. 作業時は保護めがねを着用してください。
    - ・着用していないと、切りくずなどが目に入り、けがの原因になります。
  8. 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
    - ・着用していないと、粉じんを吸込み、病気の原因になります。
  9. 始動する前に、取付けに用いたドライバやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
    - ・取外していないと、始動のはずみにドライバなどが飛び、けがの原因になります。
  10. 各部の点検をしてください。損傷箇所やネジなどのゆるみがあると、けがの原因になります。
    - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - ・可動部分の位置調整、および締付状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。
    - ・使用前に、必ず各部のネジがゆるんでいないか、オイル、グリスが入っているか、漏れがないかを点検してください。
  11. 本取扱説明書に記載されている純正部品以外のものを使用しないでください。
    - ・事故やけがの原因になります。
  12. エンジンを回さないで、機械の操作方法を練習してください。
    - ・より安全に使用していただくためです。
  13. 無理な姿勢で作業をしないでください。けがの原因になります。
    - ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
    - ・作業は腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
    - ・傾斜地の作業は滑りやすいので、足元に十分注意してください。
  14. 次の場合はエンジンを停止させてください。エンジンを運転したままにしていると、けがの原因になります。
    - ・作業を中止したり、移動するとき。
    - ・作業中に機械から離れるとき。
    - ・付属品を交換するとき。
    - ・使用しない、または点検や整備、修理するとき。
    - ・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
    - ・その他、危険が予想されるとき。

## ⚠ 警告

15. エンジンを始動するときは、次のことに注意してください。  
始動と同時に刃物などが回転する場合があります、けがの原因になります。
  - ・周囲に人、動物、障害物などがいないかを十分確認してから始動してください。
  - ・しっかり機械を固定してください。
16. 作業はゆとりを持って行なってください。より安全に作業していただくためです。
  - ・取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
  - ・燃料を補給するとき、休憩するようにしてください。連続使用すると、振動により、白ろう病にかかる恐れがあります。
17. 作業中はおもよりエンジン停止直後は、マフラーやエンジン本体、ポンプなど高温部に触れないようにしてください。やけどや火災の原因になります。
  - ・マフラーやマフラー周辺に可燃物を置いたまま、エンジンを運転しないでください。
18. 運転中は、点火プラグキャップや高圧コードに触れないでください。
  - ・感電の原因になります。
19. 燃料補給の際は、次のことを守ってください。  
マフラー、排気ガスは高温であるため、燃料に引火し、やけどやけがの原因になります。
  - ・燃料補給は、必ずエンジンを停止させて、十分冷えてから行なってください。
  - ・火気の近くでは、絶対に燃料補給しないでください。特に、タバコを吸いながらの作業は行なわないでください。
  - ・燃料はこぼさないように補給し、こぼれたときはふき取ってください。
  - ・補給後は、補給場所から3 m以上離れて、エンジンを始動してください。
20. 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
  - ・機械の知識がない人が使用し、けがの原因になります。
21. 修理は、お買上げの販売店にお申し付けください。  
修理の知識がない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
  - ・修理、調整をするときは、エンジンを停止し、点火プラグのコードを抜いてください。
  - ・損傷箇所がある場合は、修理してから収納してください。  
この場合、部品、消耗品は、指定の純正部品を使用してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
  - ・保管時や輸送時は、燃料を抜いてください。また機械をしっかり固定してください。

## ⚠ 注意

1. 燃料はガソリン25に対し、2サイクルエンジンオイル1の割合で混合されたものを、必ず使用してください。
  - ・エンジンの焼付き、またはエンジン不調の原因になります。
2. 注意深く手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくためです。
  - ・刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
  - ・長期間保管するときは、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を抜いてください。
  - ・各部を十分清掃し、金属部分には薄くオイルを塗ってください。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

## エンジンヘッジトリマご使用に際して

先にエンジン工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ヘッジトリマをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

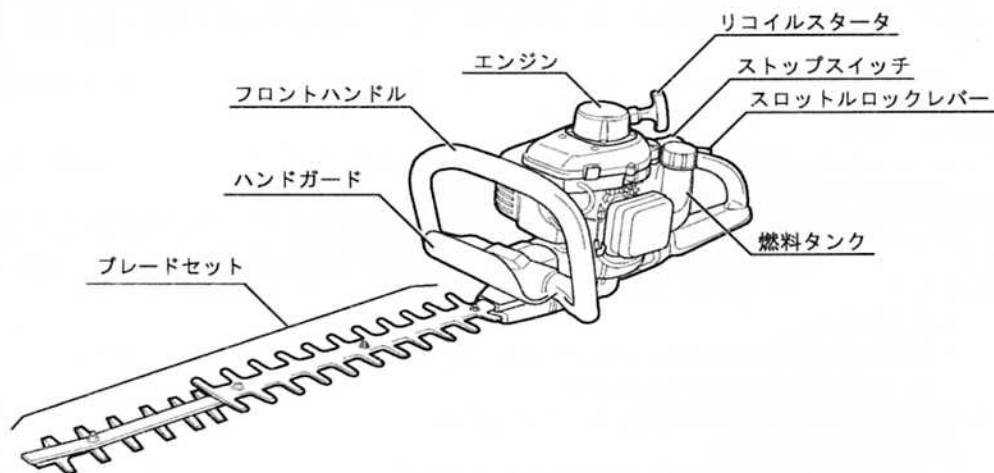
### ⚠ 警告

1. 作業する生垣や芝生などの異物（針金、小枝など）は、あらかじめ取除いてから作業をしてください。
  - ・針金などが刃物に当たり、はね飛ばされ、けがの原因になります。また刃物に変形して、使用不能となる場合があります。
2. 刃物は指定のもの以外は使用しないでください。
  - けがの原因になります。
  - ・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
  - ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刃物は、新品に交換してください。
  - ・刃物の点検、調整の際には、必ず手袋をしてください。
3. エンジン運転中は、刃物に触れないでください。
  - ・動いている刃物に不用意に手で触ったり、身体や衣服を近づけないでください。けがの原因になります。
4. 両手でハンドルをしっかりと握り、安定した体勢で、身体から離して作業をしてください。
  - ・けがの原因になります。
5. 作業を終えるときは、必ずエンジンを停止し、刃物の動きが停止したことを確認してから、本機を降ろしてください。
  - ・エンジンを停止した後も、刃物は動き続けることにより、けがをすることがあります。
6. 点検、整備をする場合は、本機が冷えるのを待って作業をしてください。
  - ・マフラーやエンジン本体などが高温になっているため、やけどの原因になります。
7. 刃物部に枝などがかみ込んだときには、必ずエンジンを停止させ、刃物の動きが停止したことを確認してから、枝などを除去してください。
  - ・枝などを取除いたはずみで不意に刃物が動き出し、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

1. 保管や持運びのときは、必ずブレードにブレードカバーを取り付けてください。
  - ・刃物が人に当たり、けがの原因になります。
2. 作業中、刃物を押付けたり、曲げたりしないでください。
  - ・刃物が破損する恐れがあります。

## ■各部の名称



## ■仕様

モデル		EH-410	EH-550
エンジン	形 状	強制空冷2サイクル	
	排気量	22.5cm <sup>3</sup> (22.5cc)	
	最大出力	0.404Kw (0.55PS)	
	キャブレタ	ダイヤフラム式、ロータリバルブ式	
	点火方式	電子点火、フライホイールマグネット	
	スパークプラグ	チャンピオン CJ-6Y	
	始動、動力伝達	リコイルスタータ、自動遠心クラッチ	
燃 料	混合比	25 (無鉛ガソリン) : 1 (2サイクルエンジンオイル)	
	タンク容量	0.57 ℓ (連続運転、約60分)	
駆動部	刈込幅	413mm	553mm
	最大切断径	20mm	
	刃数 上刃	12 枚	16枚
	下刃	12 枚	16枚
	刃駆動	両刃駆動式	
	ストローク量	35mm	
	減速比	47 : 8 (5.875)	
機体寸法	長さ×幅×高さ	940×272×223mm	1080×272×223mm
質 量		5.3kg	5.5kg

## ■ 付属品

- ・ ブレードカバー…………… 1
- ・ 六角棒レンチ 4mm…………… 1

## ■ 別販売品

- ・ ギヤケース用グリス
- ・ ブレード用グリス

## ■ 用途

- ・ 生垣の刈込み、庭木の整枝、剪定

## ■ 操作方法

### ● 混合燃料の作り方

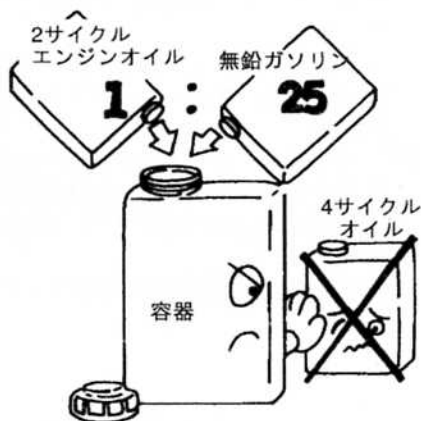
#### ⚠ 警告

- ・ 混合燃料を作る時、または燃料を補給する際は回りに引火しやすいものがないことを確認してから行ってください。またタバコを吸いながらの作業は行なわないでください。燃料に引火し、やけどやけがの原因になります。

- ・ 燃料は正しい比率(無鉛ガソリン 25 に対し、2 サイクルエンジンオイル 1) で混合し、燃料タンクに入れてください。
- ・ 混合容器に無鉛ガソリンと2サイクルエンジンオイルを入れた後、よく振って作ります。

#### (注)

- ・ 2サイクルエンジンオイル以外のオイル、および正しい比率以外の燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼付き、またはエンジン不調の原因になります。
  - ・ 購入後、2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- また、夏季などの高温下では、ガソリンが蒸発し、混合比が変わる恐れがありますので、混合燃料は1日の使用に見合った量を用意するようにしてください。

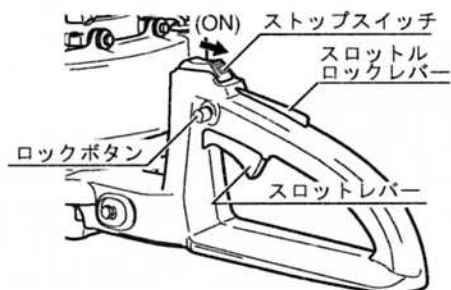


## ●始動

### ⚠ 警告

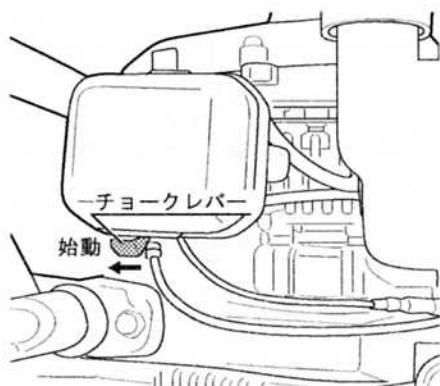
- ・始動するときは、周囲に人、動物、障害物がないか確認し、機械をしっかり固定してください。けがの原因になります。
- ・エンジン始動と同時に刃物が動き出しますので、安全を十分に確かめてから始動してください。

1. 燃料タンクに燃料を入れてください。
2. ストップスイッチをONにしてください。



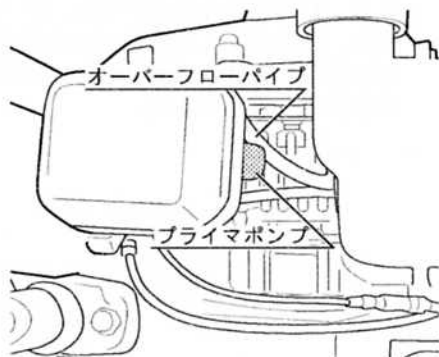
3. チョークレバーを始動位置（左に倒す）にしてください。  
エンジンが暖まっているとき（停止後、約15分以内）は、チョークレバーの操作は不要です。

【アイドルスタート オートリターンチョーク】  
本品のチョークシステムは新機構を採用しており、始動操作が従来機に比べ、簡略化されています。  
従来機の始動操作と異なりますので、ご注意ください。



4. オーバーフローパイプ内の気泡がなくなるまで、プライマポンプを十分押ししてください。（10回以上）  
オーバーフローする燃料は、燃料タンクに戻る構造になっているため、吸込み過ぎの弊害はありません。

※エンジンは暖まっているとき（停止後、約15分以内）は、プライマポンプの操作は不要です。





5. リコイルスタータ（ロープ）を素早く引いて、エンジンを始動させてください。

（注）リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割くらいで始動するように心がけてください。全部を引いてかけると、ロープを引きちぎる恐れがあります。

もし、始動しない場合は、4に戻ってください。

6. エンジンが始動したら、スロットルロックレバーを押し、スロットルレバーを引いてください。



### ●燃料の吸いすぎについて

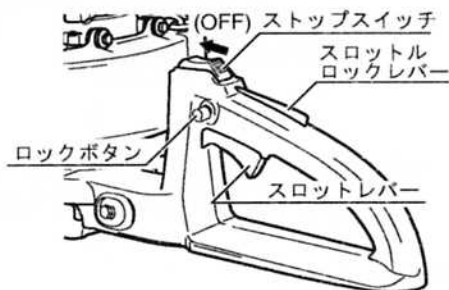
- ・エンジンが暖まっているときに、チョークレバーを始動位置で、リコイルスタータ（ロープ）を何回も引くと、燃料の吸込み過ぎとなります。この場合はスロットルレバーをロックボタンで中速の状態にして、リコイルスタータ（ロープ）をエンジンがかかるまで（10～15回位）素早く引いてください。

### ●運転

#### ⚠ 警告

- ・エンジン運転中は、刃物に触れないでください。動いている刃物に不用意に手で触ったり、身体や衣服を近づけないでください。けがの原因になります。
- ・刃物部に枝などがかみ込んだときには、必ずエンジンを停止させ、刃物の動きが停止したことを確認してから、枝などを除去してください。枝などを取除いたはずみで不意に刃物が動き出し、けがの原因になります。

1. 作業をする前にスロットルレバーを少し引き、エンジン回転を上げ、ブレードが動くことを確認してください。
2. 低速運転（アイドル）から、スロットルレバーを徐々に引き、エンジンの回転を上げていきます。作業をするときは、必要以上に高速回転せず、枝などが刈込める程度の低めの回転で作業をしてください。



### ●停止

1. スロットルレバーを放し、低速運転（アイドル）をしばらく続け、エンジンを冷やしてください。
2. ストップスイッチをOFFにしてください。

## ●ブレードの交換

### ⚠ 警告

- ・ブレード交換の前には、必ずエンジンを停止し、ストップスイッチをOFFにしてください。また、本体が冷えるのを待って作業をしてください。マフラーやエンジン本体が高温になっていますので、やけどの原因になります。

### ⚠ 注意

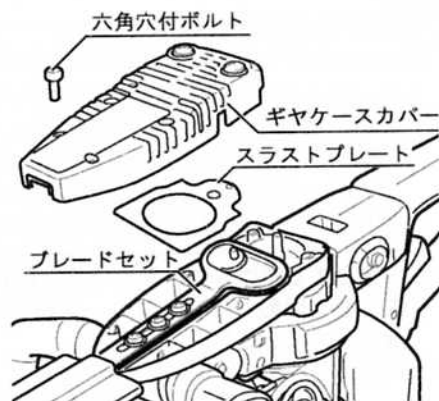
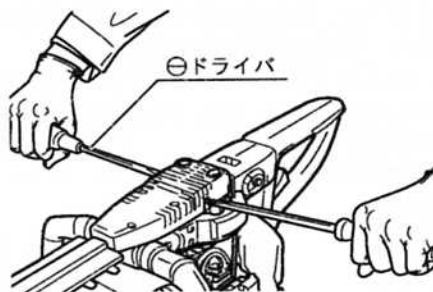
- ・ブレードは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたり、けがの原因になります。
- ・ブレードの取扱いには、十分注意してください。けがの原因になります。

#### (ブレードの取外し)

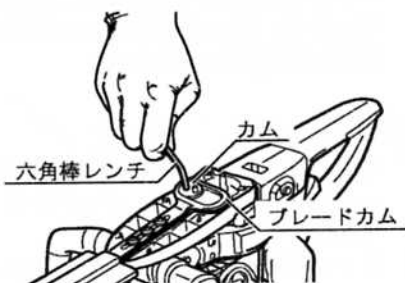
- ・本体裏側のカバー、ギヤケースカバーを止めている六角穴付ボルト（6本）を付属品の六角棒レンチでゆるめて取外します。



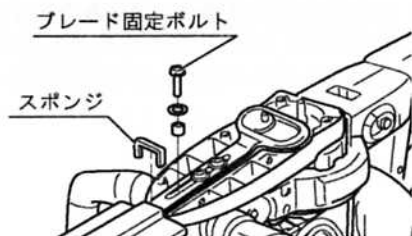
- ・ギヤケースの両側に⊖ドライバーをさし込み、ギヤケースカバーとスラストプレートを外します。



- ・六角棒レンチをカムの穴にさし込み、ブレードのカム穴とカムの形状を合わせてください。



- ・ブレード固定ボルト（3本）を付属品の六角棒レンチでゆるめて外し、ブレードセットを取外します。



#### （ブレードの取付け）

- ・ブレードのカム穴とカムの形状を合わせ、ネジ穴が合うように刃物を動かしてください。
- ・ブレード取外しの逆の手順で取付けてください。

## ■刈込み作業

### ⚠ 警告

- ・使用中は、前後ハンドルを両手で確実に保持してください。確実に保持しないと、けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ・使用中は、ブレードに手や顔など近づけないでください。けがの原因になります。万一、異物をかみ込んだときは、直ちにエンジンを停止し、ブレードの回転が停止したことを確認した後、異物を取除いてください。

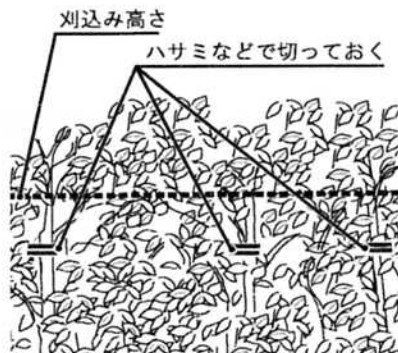
### ⚠ 注意

- ・ブレードや付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実にしないと外れたり、けがの原因になります。
- ・炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下での作業をされる場合には暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ・刈込みをする前に、鉄芯・針金・板などの異物や太い枝がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ・高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。機体などを落としたとき、事故の原因になります。

（注）直径20mm以上の太い枝は、刈込みを始める前にノコギリやハサミなどで刈込み位置より10cm程度内側で切っておいてください。

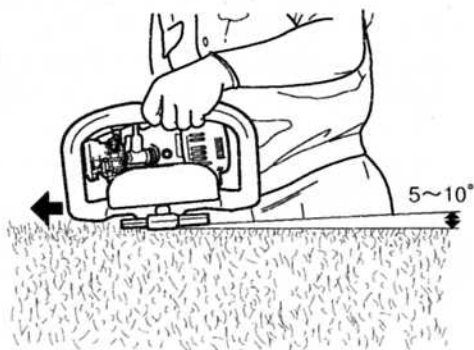
（注）使用前と作業中の1時間に1回程度は、ブレードにグリスを塗ってください。燃料を補給をするときにグリスを塗布することをお勧めします。

（使用グリスはモリブデングリス#2）

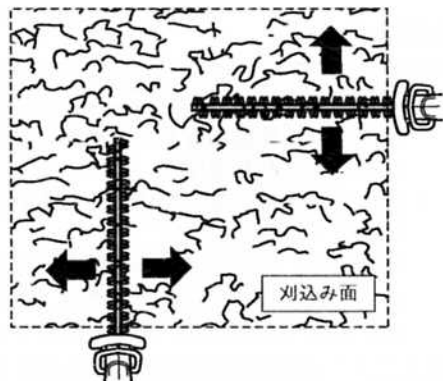


(生け垣の刈込み)

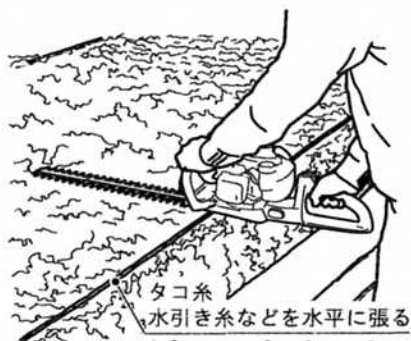
- ・刈込みを行なう場合、刈込み方向（ブレードの進行方向）に対して刃先を少し下げてください。枝の導入が良く、きれいに刈込めます。



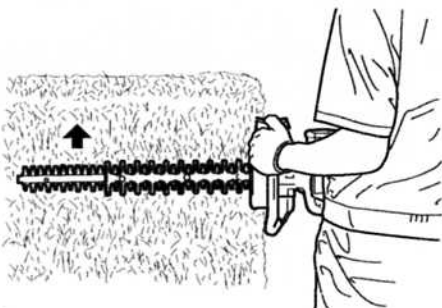
- ・上面を刈込む場合には、一方向からだけでなく、立つ位置を変えて、いろんな方向から刈るときれいに仕上がります。
- ・機械の切断していく能力より早く送りますと、枝が曲がって導入され、高さが揃いません。



- ・一定の高さに揃えたい場合には、タコ糸や水引き糸などを水平に張り、その高さに沿って刈るときれいに仕上がります。



- ・側面を刈るときは、下から上に向かって刈りますと、きれいに仕上がります。



### (樹種による剪定)

- ・ さつき、つつじ、しゃくなげなどは、花が咲き終わった直後に強めの剪定を行ない、花芽の形成が終わった秋には形を整える程度に軽く刈込みます。
- ・ イブキ類は、芽の伸びに従って、適宜(年に2~3回程度)剪定します。
- ・ ツゲ類、マサキ、サンゴジュ、カナメモチなどは、萌芽力が強く春から秋にかけて、3~4回刈込み、樹型を整えます。

植物は生きています。十分に手入れをしてやれば、庭木、生け垣など美しく育ちます。樹種に応じた手入れをしましょう。切落とした枝葉は、かき集めて取除きましょう。残しておくとう見苦しいだけでなく、病虫害発生の原因になります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イヌツゲ			—			—	—	—			—	—
キャラ・イチイ		—	—	—		—	—			—	—	—
ヒバ類			—	—			—		—		—	—
カシ類	—	—	—				—	—			—	—
ツツジ・サツキ					—	—				—	—	—
ツバキ類			—	—						—	—	—

(注) この表は一般的な刈込み時期です。天候や地方により多少刈込み時期は異なります。

## ■保守と点検・整備

### ⚠ 警告

- ・ 保守、点検、整備などのお手入れの前には、必ずエンジンを停止し、ストップスイッチをOFFにしてください。また、本体が冷えるのを待って作業をしてください。マフラーやエンジン本体が高温になっていますので、やけどの原因になります。

## ●キャブレタ

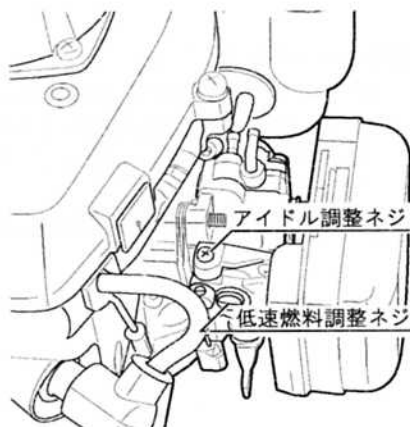
### (アイドル調整ネジ)

- ・ アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転(アイドルリング)を調整してください。刃物が動き始めるやや前(停止状態)で、エンジンが停止しない状態としてください。

### (低速燃料調整ネジ)

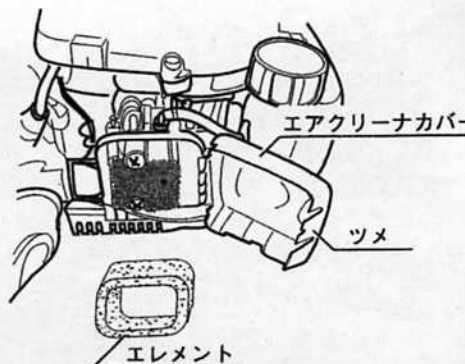
- ・ 標準値は低速燃料調整ネジを全閉(右に軽く締付けた位置)にしたところから、1回転戻した位置です。その位置から±1/4回転の範囲で調整してください。

- (注) 出荷時に燃料が最適に供給されるように調整してあります。むやみに低速燃料調整ネジを動かさないでください。エンジンの焼付き、回転不調、始動不良の原因になります。



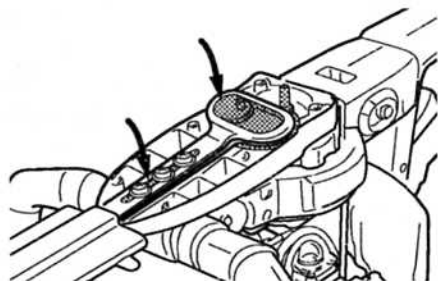
## ●エアクリーナ

- ・エアクリーナカバー側面のツメを押して、エアクリーナカバーを開きます。  
エレメントの汚れを点検し、軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗ってください。
- ・エレメントを元に戻し、エアクリーナカバーを押してしっかりと閉めてください。



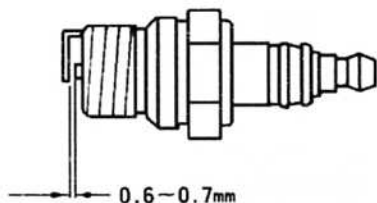
## ●ギヤケース

- ・ブレード交換時と同様に、ギヤケースカバーを取外します。  
ギヤとカムの上に別販売品のギヤケース用グリス（モリブデングリス#1）を右図に示す所に塗布してください。



## ●スパークプラグ

- ・スパークプラグの適正な電極間隔は、0.6 ~ 0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して、清掃のうえ使用ください。  
(スパークプラグの交換の際には、チャンピオン

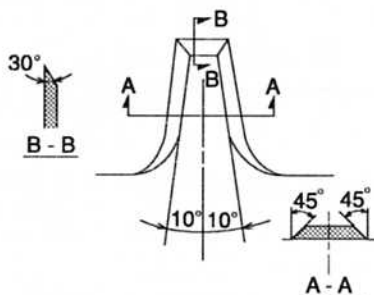
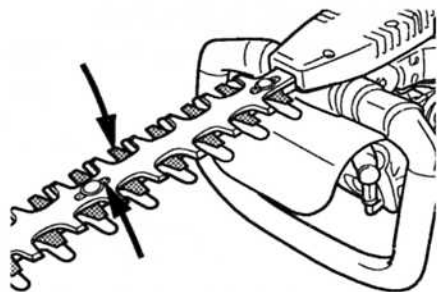


CJ-6Y を使用ください。)

## ●ご使用の後で

- ・ブレードは硬めのブラシで表裏ともきれいに汚れを落とした後、別販売品のブレード用グリリス(モリブデングリリス#2)を右図に示す所に十分に塗ってください。  
本体は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れをおとしてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- ・針金などをかみ込んでブレードにかえりが出るなど傷ついたときは、ヤスリなどで修正するか、新しいブレードセットと交換してください。
- ・研磨は、ブレード側面とすり合わせ面との角が丸くならないように注意してブレード側面、先端を研磨してください。

(注) すり合わせ面は研磨しないでください。



## ●保管

- ・本機を10日以上使用しない場合は、下記の操作を行なった後、保管してください。
  1. タンクキャップを外し、タンク内に残った燃料を出してください。
  2. エンジンを始動させ、自然にエンジンが停止するのを待ちます。  
(キャブレタ内に残った燃料を空にするためです。)
  3. エアクリーナを清掃すると同時に、各部の汚れを取除いてください。
  4. ブレードへの注油をした後、余分な油をふき取ってください。
  5. ブレードにブレードカバーを取付けてください。
  6. エンジンが十分冷えていることを確認してから、乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかる所で保管してください。

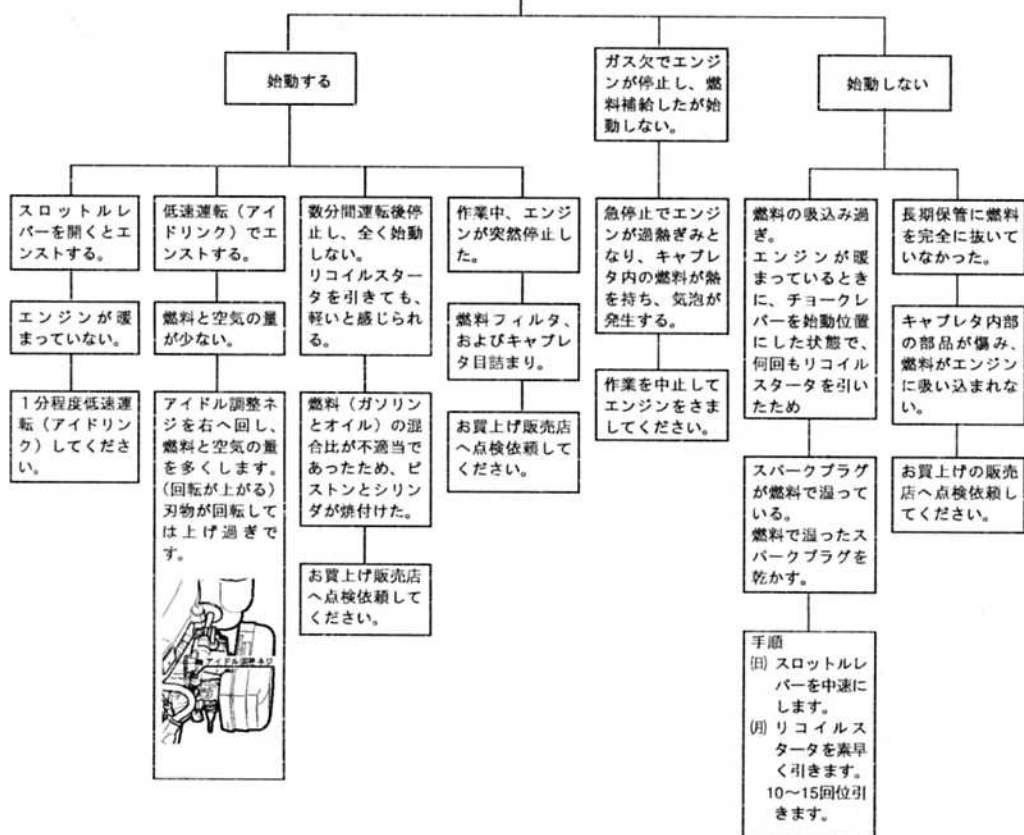
## ●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。  
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

## ■故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストに添って点検を行なってください。

### エンジントラブル時のチェックリスト



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社